

恒例の秋のバス旅行、今回は南房総の紅葉を訪ね、また東京ドイツ村のイルミネーション
煌めく夜景を、たっぷりと楽しむことができました。大型バス1台、総勢48名の満席でした。
今回は夜の見学もあるので、朝の出発は、いつもより2時間も遅い9時とゆっくりでした。
《旅行日》 平成29年11月28日（火）



《鴨川の日蓮宗大本山・清澄寺》

参加の ご一行様さま。

予定していた小松寺の紅葉が、台風の影響で芳しくないという情報あり、清澄寺へ行先変更。
日蓮上人が出家得度立教開宗した寺。一時真言宗に改宗されたが、昭和24年に日蓮宗に改宗。
久遠寺、池上本門寺、誕生寺と共に日蓮宗四霊場と呼ばれる。宝亀2年（771年）の開山



《養蜂場はちみつ工房の見学》

網窓越しに、ハチミツ王子様のお出まし。この後、ハチミツ巣板なども見せてくれました。



《はちみつ採集工程》

はちみつの巣板を、遠心分離器（上にある円筒形の器具）にかけて、手回しをして採集。採集された蜜は、下にある円筒形の缶に貯められる（缶の下部には蛇口が付いている）。



《採集工程を見ている笑顔が満開》

このあと、販売所で採れたてのハチミツや、ハチの巣蜜を直売しており、皆さん試食を楽しみながら、お土産にたくさん買いこんでいました。

街のショップで買うより、新鮮で、尚かつ、かなりお得なお値段でした。



《富津の料理店で昼食》

地元の魚中心の料理、美味しい「鯛めし」は食べ放題でした。

男性陣は、やはり・・・一杯が・・・うれしく・・・楽しいようで・・・



《濃溝の滝・亀岩の洞窟》

南房総で、清水溪流広場の中にある亀岩の洞窟では、洞窟から差し込む光が、水面に反射してハート型を描き出すことが最近 SNS の写真で話題になったところです。

そのせいか、私たちの後に観光バスが数珠つなぎ、大勢の観光客で賑わっていました。

付近の溪谷の紅葉も、清流とマッチしてきれいでした。



《東京ドイツ村・イルミネーション・・・観覧車からの夜景》

千葉県・袖ヶ浦市に、2001年3月に開園した、テーマパークです。

「自然と人が共に過ごせる」共生の追及が基本コンセプトである由。敷地面積は27万坪。東京ドームの19倍、芝生の丘を中心にボート池や、アミューズメントエリア、子供動物園、フラワーガーデンのエリアがあります。夜景の展望は観覧車が一番。結構行列でした。



《地上・散策路でのイルミネーション》

今年は球数が、新たに300万球になり、音楽に合わせたイルミネーションが変化する「光と音のショー」、全長70mにも及ぶ「虹のトンネル」など、壮大なスケールに圧倒される別世界を堪能してきました。

私たちは、あたりが暗くなった午後5時過ぎに入園、6時40分までゆっくりと過ごし、午後8時に西柴へ帰着しました。

(おわり)